



小金井 2019.11/1 No.499 月刊 こうみんかん

編集・発行 小金井市公民館 小金井市本町2-15-11 TEL042-383-1184
メールアドレス k020499@koganei-shi.jp

起きます！ 起こせます！
あなたの想いを！
見つけよう！ 僕・私。
仲間へのメッセージを。
この場所で！

小金井神社では歴史と文化が感じられます

芸術の秋、読書の秋、スポーツの秋などといわれ、多くの人が様々なチャレンジをする秋。
今回の月刊こうみんかんは、歴史と文化が感じられる小金井神社をご紹介します。

■小金井神社

小金井神社は、元久2年（1205年）武蔵野開拓にあたり、菅原道真公の徳を敬い社殿を作り、天満宮として創建されたと伝えられています。明治3年に小金井の里の総鎮守として、地名にちなみ小金井神社と改称されました。

境内社は稲荷神社、熊野神社、大鷲神社の3つがあります。熊野神社の社は戦前に奉安殿として使用されていたもの、大鷲神社の社は旧中島飛行機三鷹研究所にあったものです。



鳥居と社殿



熊野神社

■ご朱印

公民館貫井北分館では、昨年11月・12月の地域研究講座「オリジナルご朱印帳を作って小金井神社を訪れる」を開催しました。第1回ではオリジナルご朱印帳を作成し、第2回で小金井神社に正式参拝し、ご朱印をいただきました。

ご朱印とは神社や寺院で、参拝者に参拝の証として押印していただく印のことです。印の他に参拝した日付、寺社名、ご祭神・御本尊の名前などをご朱印帳に記入していただきます。元々は、写経を寺社へ納めた証としてご朱印が押されていたようです。

近年スタンプラリーのような感覚で集めている方も多くご朱印。朱・黒の2色だけでなく、カラフルでかわいらしいご朱印もあります。小金井神社のご朱印は昔から変わらないシンプルなものです。

日本だけでなく、ハワイにも出雲大社の分社があり、ご朱印がいただけます。

「オリジナルご朱印帳を作って小金井神社を訪ねる」はご好評につき今年度も開催いたします。

■小金井ばやし

戦前に青年たちが府中の目黒流のお囃子を習い、中山谷囃子と称しました。これが小金井ばやしの始まりです。戦後、一時期活動はありませんでしたが、昭和49年に新たな指導者の元で小金井ばやしが発足しました。

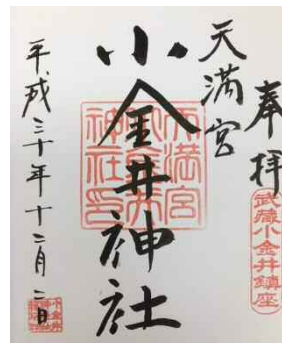
現在はなかよし市民まつり、小金井桜まつりといった小金井市のおまつりで見られるほか、お囃子講演会で地域のみなさんに小金井ばやしを広める活動もしています。

また、今年度は公民館貫井北分館で地域研究「見て聞いて知る無形文化財～小金井ばやし～」を11月10日（日）に開催します。公民館貫井北分館の北町ホールで、小金井市囃子保存会のみなさんを講師にお迎えし、お話を伺います。小金井神社には訪れませんが、高架化前に使用していた山車を保管している倉庫があるとのこと。

■小金井神社のお祭り

毎月1日、15日、25日に月次祭が行われています。11月には酉の日に大鷲神社祭、25日には新嘗祭があり、七五三で賑わう時期でもあります。

また、毎年9月には例大祭が行われ、迫力ある大太鼓や山車、小金井ばやしが見られます。歴史と文化、そして活気を感じに、小金井神社を訪れてみてはいかがでしょうか？



小金井神社のご朱印



小金井ばやしの山車

＜小金井神社＞

所在地：小金井市中町4-7-2

☎ 042-381-3500/1129

※令和2年12月まで拝殿改築、及び境内整備中です。
令和3年のお正月には新しい拝殿の姿が見られます。

成人大学講座

「100年後の地球に引き継ぐ環境問題」 本館

地球温暖化などの地球規模環境問題や異常気象による災害の多発や人間のみならず全ての動植物の生態系への影響など、私たちの暮らしを取り巻く環境はより一層深刻な状況となっています。

100年後の地球に何を引き継ぎ、子や孫たちに何を話したら良いかを考えます。

回	とき	内容	講師
1	12/7	地球温暖化の仕組みと現状	中野幸夫さん（東京学芸大学学長補佐/准教授）
2	12/14	温室効果ガスの観測と削減対策の現状	山本昭範さん（東京学芸大学准教授）
3	12/21	外来種と絶滅危惧種から考える生物多様性と環境保全	堂園いくみさん（東京学芸大学准教授）

※いずれも土曜日、時間は午前10時～正午

ところ 東京学芸大学 S203号教室

定員 100人（申込順） ※市内在住・在勤・在学90人、市外一般10人

参加費 無料

申込 11月6日（水）午前9時から電話、または公民館本館窓口（☎042-383-1184）へ。

市民講座

「冬を元気にのりきる温活のススメ」 本館

寒～い冬に備えて、今年もそろそろ「温活」を始めませんか？早めにスタートして、真冬でもココロもカラダもぽっかぽかで過ごしましょう！

とき 11月30日（土）午前10時～正午

ところ 公民館本館 学習室B

講師 若林悦子さん（温活ホリスティック講師）

対象 市内在住・在勤・在学の方

定員 30人（申込順） 参加費 無料

持ち物 手ぬぐいまたは薄手のタオル・五本指ソックス

保育 保育あり（おおむね2歳以上、要事前申込）

申込 11月1日（金）午前9時から電話、または公民館本館窓口（☎042-383-1184）へ。

令和元年台風15・台風19号について

令和元年9月に発生しました台風15号、及び同年10月に発生しました台風19号の被害により、お亡くなりになられた方々のご冥福をお祈り申し上げますとともに、被災された皆様、そのご家族の方々に對しまして、心よりお見舞い申し上げます。

一日も早い復旧と復興をお祈り申し上げます。

小金井市公民館

子ども体験講座 「昔の遊びを体験しよう

～ぶんぶんごま～ 緑分館

昭和の遊びを知っていますか？テレビゲームなどはなく、メンコやベーゴマなどで遊んでいました。今回は、昭和の時代に多く遊んだ「ぶんぶんごま」を一緒に作って、遊び方を教えてもらいます。

とき 12月1日（日）午前10時～正午

ところ 公民館緑分館 視聴覚室

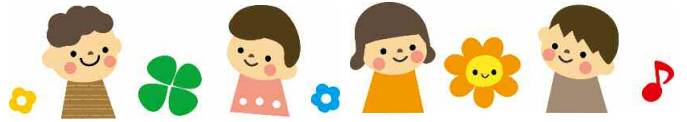
講師 吉祥千明さん（昔遊び研究家）

対象 市内在住・在学の小学生とその保護者（小学校2年生以下は保護者同伴）

定員 25人（申込順） 参加費 無料

その他 接着剤などを使用します、汚れても良い服でお越しください。

申込 11月1日（金）午前9時から電話、または公民館緑分館窓口（☎042-387-7301）へ。



子ども体験講座 「自然の素材で作る！

クリスマスリース作り」 緑分館

自然にある素材を使った自分だけの手作りリースで、クリスマスを演出してみませんか？ぜひ、ご参加ください。

とき 12月14日（土）午後2時～4時

ところ 公民館緑分館 学習室A・B・C

会議室

講師 武部令さん、大石征夫さん（いずれも森林インストラクター）

対象 市内在住・在学の小・中学生の子どもとその保護者（小学校2年生以下は保護者同伴）

定員 25人（申込順）

参加費 500円（材料費）

申込 11月1日（金）午前9時から電話、または公民館緑分館窓口（☎042-387-7301）へ。



成人学校 子育て世代対象講座

「子育てママの、私をリセットするお灸」 東分館

鍼灸師の指導で、自分に効くツボを見つけましょう。台座付きのお灸なので、初心者でも安心です。

とき 12月5日（木）午前10時～正午

ところ 公民館東分館 集会室A・B

講師 岩波多季笑さん（鍼灸師）

対象 市内在住・在勤・在学の子育て世代の女性の方

定員 16人（申込順）

参加費 200円（材料費）

持ち物 タオル

保育 あり（おおむね2歳以上10人まで、要事前申込）

その他 前開きのシャツ。膝を出せるボトムス着用。

申込 11月18日（月）午前9時から電話、または公民館re東分館窓口（☎042-384-4422）へ。



市民講座

「器具を使わず筋トレ」 貫井南分館

筋力の低下を防ぐため、普段から少しずつトレーニングを重ねれば思わぬケガを防ぐこともできます。器具を使わず自宅で気軽にトレーニングできる方法を学びます。

と き 11月30日(土)、12月7日(土) 午前10時～正午

ところ 公民館貫井南分館 学習室A・B

内容 自重トレーニングの一般的な解説から、基本動作

講師 岡村卓哉さん、滝沢和将さん
(いずれも東急スポーツオアシスインストラクター)



対象 市内在住・在勤・在学の中学生以上の方

定員 20人(申込順) 参加費 無料

持ち物 運動に適した服と室内靴、汗拭き用タオル、バスタオル、水分補給のための飲み物

申込 11月6日(水) 午前9時から電話、または公民館貫井南分館窓口(☎042-383-1168)へ。

「月刊こうみんかん」市民編集委員募集

公民館では、事業の企画や情報の発信を市民参加で実施しています。現在、市民編集委員2人、職員6人で「月刊こうみんかん」の編集会議を公民館貫井南分館にて行っています。

●紙面づくりに興味がある！

●公民館のことを知ってみたい！

次回の編集会議は11月12日(火)午後3時～興味のある方はご参加をお待ちしております。

成人学校 「マイクロバスで行くそば打ち体験!」 ～本場群馬県邑楽町を訪ねて～ 東分館

東分館と十年以上交流のあるそばの本場群馬県邑楽町を訪ねて、そば打ちを体験し、食べて交流します。

と き 12月4日(水) 午前7時45分～午後5時頃
(雨天決行)

ところ 邑楽町長柄公民館

交通手段 マイクロバスで移動

講師 稲葉泰子さん(群馬県そば打ち名人)

対象 市内在住・在勤・在学の方

定員 16人(多数抽選)

参加費 2,000円(材料費ほか)

持ち物 エプロン、三角巾(バンダナ)、食器用ふきん、持ち帰り用袋

申込 11月14日(木)(必着)までに、往復はがき(63円×2・連名不可)に、住所・氏名(ふりがな)・年齢・性別・電話番号を明記し、公民館東分館「そば打ち体験係」(〒184-0011 小金井市東町1-39-1)へ。※申込はがきに消えるボールペンは使用しないでください。

問合せ 公民館東分館(☎042-384-4422)

成人学校 「かるーい粘土でデコレーションPART3 ～子どもから大人まで楽しく作れるクリスマスリース～」 貫井南分館

クリスマスを彩るリースを制作してみませんか？

と き 11月30日(土) 午前10時～正午

ところ 公民館貫井南分館 学習室C

講師 片山朋子さん(クレイアート講師)

対象 市内在住・在勤・在学の方

定員 10人(申込順)

参加費 500円(材料費)

その他 親子参加の場合は、一組で一つのリース制作になります。

申込 11月6日(水) 午前9時から電話、または公民館貫井南分館窓口(☎042-383-1168)へ。



市民講座報告

「夏休み!親子で考えるお金のしくみ」

実施 8月30日・9月1日 本館

夏休み最終週に開催し、多くのパパ、ママ、お子さんにご参加いただきました。

第1回目のテーマは「電子マネーの正しい使い方」。

ICカードか現金を選んで買い物体験するワークもあり、お子さんたちはお会計で手持ちのお金が足りなくならないよう、真剣に計算しながら取り組んでいました。

「電子マネーはいくらでも使える魔法のカードではない」ことを教わりました。

第2回目のテーマは「わが家のおこづかい契約書づくり」。各ご家庭で話し合っ、おこづかいを始める際のルール作りをしました。「自分のために使うお金」、「人のために使うお金」、「いざという時のお金」を足し上げ、金額を決定すると良いというアドバイスに、納得の声が上がっていました。

○参加者の感想○


子どもの感想：○電子マネーはよいところ、わるいところがあるのがわかった。○おこづかいをもらうのは思ったより大変だと思った。○お金の大切さがあらためて分かった。

大人の感想：○低学年にも分かりやすい言葉で伝えていただき、よく分かった。○おこづかいについて真剣に親子で話し合ったことがなかったので、良い機会となった。



◆ 11月の公民館主催事業募集情報 ◆

公民館主催事業の詳細は、各公民館問合せのほか、市報、月刊こうみんかん、公民館窓口チラシなどにてご覧ください。

小金井市公民館	公民館貫井南分館	公民館東分館	公民館緑分館	公民館貫井北分館
本町 2-15-11 ☎ 042-383-1184 FAX 042-387-1226	貫井南町 4-3-23 ☎ 042-383-1168 FAX 042-387-1228	東町 1-39-1 ☎ 042-384-4422 FAX 042-387-1229	緑町 3-3-23 ☎ 042-387-7301 FAX 042-387-7300	貫井北町 1-11-12 ☎ 042-385-3401 FAX 042-385-3402
☆成人大学講座「100年後の地球に引き継ぐ環境問題」 ☆市民講座「冬を元気にのりきる温活のススメ」	☆市民講座「器具を使わず筋トレ」 ☆成人学校「かるーい粘土でデコレーション PART3～子どもから大人まで楽しく作れるクリスマスリース～」	☆成人学校子育て世代対象講座「子育てママの、私をリセットするお灸」 ☆成人学校「マイクロバスで行くそば打ち体験！～本場群馬県邑楽町を訪ねて～」	☆子ども体験講座「昔の遊びを体験しよう～ぶんぶんごま～」 ☆子ども体験講座「自然の素材で作る！クリスマスリース作り」	

市民講座報告

「家族で出来る身近な防災を考えよう」

実施 9月13日・20日 貫井南分館

家族で備える防災として、座学講座と江東区にある防災公園「そなエリア」で体験する防災講座を開催しました。一日目の座学では、小金井市在住の防災士の大越聡さんを講師に防災の備えについて心構えを学びました。

「防災」と言っても、「地震の防災」と「台風などの防災」は違うことをあげ、生活に欠かすことのできない「トイレの備え」について、「地震後の断水」、「台風などで停電による断水」の例で災害後トイレの利用にどのような対策が必要か映像を交え学びました。



災害への備蓄では、今は色々な保存食があるので単に「防災」だけを意識するのではなく、家庭で普段からの備蓄として考えて自分で実際に食べて美味しいもの、嗜好品などを備蓄し、もし災害にあった際少しでもストレス環境を軽減できそうなものを選ぶことが大事だと話されていました。

2日目の講座で訪れた防災体験学習施設「そなエリア」がある東京臨海広域防災公園は、有事の際に国の災害応急対策の拠点として使用できるよう設備されています。災害対策拠点となるオペレーションルームや大型輸送ヘリコプターのヘリポートを備えた公園は、普段は無料で入館できる防災教育施設を備えた施設です。

体験学習では「東京直下72hTOUR」で震度7の首都直下地震の発生から避難までを体験し、避難するまで、どのような対応をすることが正解かタブレット端末で問題を解いていく体験をしました。



自分が正しいと思った行動が当たると喜び、間違っている時は驚いて、「これはダメなのか」「知らなかったわ」とタブレットで正しい行動の説明を読み、納得していました。

今回、開催された講座には小金井市内の防災会に所属されている方が多く受講されていました。

災害対応には「自助」「共助」「公助」が重要とされています。防災意識を高め、新しい情報を学ぶことは「自助」「共助」につながります。公民館の講座を通して、小金井市内の防災意識が深まって貰えればと思います。

成人学校報告「子育て世代対象講座 可愛くて美味しい!子どもがよろこぶパンダの飾り巻き寿司レッスン」

実施 9月25日 東分館

9月25日に東分館の家事实習室で、可愛いパンダの飾り巻き寿司の実習を行いました。

参加者は全員子育て中の保護者ということもあり、共通の話題で和気あいあいとした雰囲気の中で講座がスタートしました。

まず胡麻をまぜた黒い寿司飯でパンダの耳の部分の細く巻いていきます。続いて目を作り、白いご飯の上に配置します。この目の置き方で、パンダの表情が可愛い顔にも恐い顔にもなるので、最も気をを使う部分です。

出来映えは切ってみないと分からないので、包丁を入れる瞬間は緊張感が漂いましたが、あちこちで「わーっ」という歓声が上がりと、とても可愛らしいパンダの飾り巻き寿司が出来上がりました。

実習後は、講師のほりかおりさん手作りの秋野菜ポタージュと、食材の残りで作った柚子塩サラダを添えて、ランチ交流会を行いました。

「保育付き講座なので、料理に集中できました」「同世代の方とお話できて楽しかったです」「家族がよろこびます!」といった明るい声が寄せられました。

日頃忙しい子育て世代にとって、リフレッシュできる貴重な時間となったようです。



巻き寿司は一回ごとに包丁を濡らして切るのがコツ!



パンダと笹の飾り巻き寿司、きゅうりの柚子塩サラダを添えて

古紙配合再生紙を使用しています。